

令和2年度保護者評価アンケート結果を受けて

野っこ

日頃より 野っこの活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

毎年保護者様にこのようなアンケートをお願いし、その結果を皆様にお返しするとともにとこっ子のHP上に掲載させていただいております。

今年度もお忙しい中、多数の保護者の方々に『放課後等デイサービス保護者評価アンケート』へのご回答をいただき、ありがとうございました。アンケートの結果や記述いただいたご意見を参考に、子どもたちが見通しを持ちやすく、楽しみながら成長できる療育の場を提供できるようにしていきたいと思っております。保護者の皆様のご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

①子どもの活動等のスペースや遊具・教材が十分確保されているか

Q:年齢・体格の差から生じる活動の場をどのように確保しているのでしょうか。

A:活動ごとに部屋を分ける・一部屋に対して人数の制限など、活動ごとに適切なスペースを確保できるようにしています。

※現在は新型コロナウイルスの影響もあり公園などの外出は極力控えさせていただいており、事業所内での「密」を避けるために始まりの会・帰りの会・昼食・おやつをプレイルーム1・2で分け行っています。

面談室(玄関横)

個別で行う活動(発語音楽療法・プライベートスペース講座・アンガーマネジメント・アイロンビーズ・コグトレなど)が主で、椅子に座り少人数で行う活動を主に行います

プレイルーム1(天井に揺れ遊具のような吊り輪があり、床にマットが引いている部屋)

サーキット・リトミック・ダンス・吊り遊具・マット遊びなど身体を動かす活動・集団で行う活動をメインに行います

プレイルーム2(フローリング・黒板のある部屋)

始まりの会・帰りの会・昼食・おやつなど全体で行います。

季節の制作・SST すごろく・リングルディングなど、この書面だけでは書ききれないほどの玩具や教材がありますので、面談時や見学の時など、気軽にお声掛けください

カフェ心風

セカンドステップ・カフェの利用

④【子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか】

Q1:普段の様子は知らないと思います。(子どもの)全部理解するのも無理があると思います。

Q2:チェック項目を分かりやすくして下さい。

A1 普段の様子など気になる点がありましたら、面談予定日の調査をする際に、職員へ知っていてほしいこと・気になる点を記入できる項目を追加させていただきますので、お気軽にご記入いただければと思います。記入がお手間な方は送迎時・面談時などいつでもご意見いただければと思います。

A2:「自閉症の判断基準となる障害(行動の違い)」・保護者アンケートなど書類でのチェック項目に関しまして、わかりにくい言い回しがあることは本当に申し訳ありません、わからない部分がありましたら、野っこ澤田までご連絡いただければと思います。

⑥【家族・地域に開かれた活動の機会があるか(運動会等)】

Q:子どもが大きくなるにつれて参加する事が難しくなる為参加が出来ません。運動会ではなく別の形を考えてほしいです。

A:貴重なご意見ありがとうございます。本年度は「新型コロナウイルス」の関係で地域に開かれた活動を行うことが出来ずとても残念でした。来年度には世間の状況も配慮し、新しい催しも開催できるよう検討していきたいと思っております。

⑧【日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い発達の状況や課題について共通理解が出来ているか】

Q1:野っこの様子がよく分かりません。教えてくれる方と(利用した時)そうでない方も見えるように思います。

A1:活動を担当別に分け別の部屋で個別に行うようにしている特性上、担当ではない子の活動内容はお伝えすることが難しい場合がありますが、その日にどういう活動をしてもらったかは職員全体が把握していますので、その日どういう活動が入っていたかはお伝え出来るようにしたいと思います。

Q2:スタッフの方が共通理解の部分では少し難しいと思います。

A2:スタッフ事で差異がないよう毎日の振り返り、週 1 回以上の支援会議を行うことで、今後ともに出来る限り、職員間での共通理解を深めることで、一貫した支援が出来るようにします。

⑨【保護者に対して面談や、必要に応じた育児に関するサポート(育児相談・ペアトレ等)の支援が行われているか】

Q:コグトレはどうなりましたでしょうか？個別の取り組みをやっているか分かりません…。

A:個別に記録に取りファイリングさせていただいていますので、面談時など、進捗状況も含め振り返りとしてご説明させていただきたいと思います。

⑫【保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか(連絡ファイル等)】

Q1:あまり出来ていないと思います。連絡ファイルが使っていない為、その日あった事は出来れば

書いて教えてほしいと思います。

欄外コメント

個別支援計画で定めた到達目標に対する支援について、日々の活動の中で職員の方がどう
いう支援をされたか、それに対して子どもの反応がどうだったかを送迎の時に簡単に教えてい
ただけるとうれしいです。

A1:その日の活動など、申し送りの際に伝えることが出来ない場合は、連絡帳へ行った活動を普
選で張り付けさせていただきます。その他詳細など、知りたい場合は連絡帳でその旨をお伝えい
ただけると助かります。

Q2:お迎えの時間を連絡帳に記入したが間違っている時があったのと、請求書を渡して頂くのを
忘れられている時があると思います。

A2:その節はご迷惑をおかけして申し訳ありません。ヒューマンエラーを防ぐために、確認者のみ
のチェックにならないよう、連絡帳のチェックはコピーをとらせていただき 2 重のチェックをさせ
ていただくようにしました。請求書に関しましては遅くても 20 日までにはお手元に届くようにさせ
ていただきます。

⑩非常災害の発生に備え、定期的に必要な訓練が行われているか

A:わからない

Q:時事業所ごとに『防災担当』を決め、津波・火災・地震・不審者の 4 種類を想定した訓練を順
番に行っており、子どもたちにも参加していただき、非常時に職員がどのような動きをすればいい
のかをチェック・振り返りをおこなっています。非常食に関しては 15 人が 2 日間過ごせる程度
の備蓄をしています。

順次訓練の様子をお便りに載せていきますので、ご確認ください。

⑪感染症対策等衛生面の配慮は適切に行われているか

新しく作成した『新型コロナウイルス感染症対策マニュアル』を基準とし、感染予防の徹底をさ
せていただくと共に、お迎え時の検温や手指消毒の実施にご協力いただきありがとうございました。

事業所内では入室前の手指消毒・密閉した空間にならないよう常に換気をする・磁場でウイ
ルスを死滅させる機能を持った空気清浄機(エアドッグ)や酸性電解水の噴霧器を稼働させるこ
とで、空気感染のリスクを抑える・おやつ・昼食・活動中に子ども同士が対面にならないよう注意
するなど様々なリスクも念頭に置き可能な限りの感染予防に努めております。

⑫子どもは通所を楽しみにしているか

Q1:(どちらともいえない)楽しみにはしていません。(子どもは)野っこでないと出来ない事も沢山
ある為、親に言われて通っていると思います。

(どちらともいえない)たまに「行きたくない」と言っています。

A1:セカンドステップ・コグトレなど、子どもたちが楽しんで参加していただくにはどう取り入れていくのか、野っこの中でも課題として上がっており、体を動かす遊びやちょっとしたゲームなど合間に挟んでいくことで、子どもたちが受け入れやすい療育の現場を目指し、今後も改善していかねばならないと思っております。

⑩事業所の支援に満足しているか

Q:(どちらともいえない)「なんで行かないといけないの?」と言われる。その都度分かりやすいように話をしています。回数(通う)は少ないが、その中で子どもに教えてあげてほしいです。

A:活動の意味を知ってもらうのは大切なことです。その前提として、野っこを楽しめているのか・安心して過ごせる場所なのか重要になってきます。野っこでは「なんでいかなきゃいけないの?」のような問いが出た時に「〇〇くんは野っこにきてくれてうれしいよ」「一緒に遊んだり、楽しんだりしたいんだ」など伝えます。その子その子で納得できるポイントは違うと思いますが、大人が行ってほしい行動(〇〇をやってほしい・〇〇のようになってほしい)を直接伝えるだけではなく、子どもたちには「野っこ楽しかった」→「野っこ行きたい」と思ってもらった上で、活動を通し、日々の成長のサポートを行っていけるようにすることで、利用者である子どもたち・保護者の方々に満足いただけるよう努力していきたいと思っております。

【全体を通して】

子どもたちの成長には保護者の方のお力なくしては成しえないことも多々あります。その中で思い通りにならない事に腹を立てる・今まで気にならなかったもの(認識していなかった)が気になって動けなくなる・年齢、身体が大きくなるにつれ動くことに対して億劫になる・性への興味など、成長することにより個々が抱える様々な困りや問題があると思います。保護者の方々にはご家庭で気になっている部分などありましたら、お電話していただく・連絡帳へ記入するなど、ご一報頂けると助かります。

野っこを安心して利用していただく為に、今後も保護者の方々の評価と自己評価を行い研鑽に努めて参ります。沢山の気づきを頂けたことに感謝いたします。

今回ふれていない点に関しても、疑問な点が有りましたら、随時対応させていただきます。今後とも宜しくお願いいたします。

特定非営利活動法人とこっ子 野っこ

澤田 湖澄茂